

# 集落機能の強化・活性化に向けて

市の取り組み



平川地区での座談会(10月28日:天王集会所)

表① 市内の町内会の状況

地域別 町内会数		世帯数10世帯未満かつ高齢化率50%以上の町内会			
		平成18年4月現在		平成20年4月現在	
		町内会数	構成率(%)	町内会数	構成率(%)
高梁地域	398	46	11.6	54	13.6
有漢地域	33	0	0.0	0	0.0
成羽地域	94	12	12.8	13	13.8
川上地域	101	12	11.9	18	17.8
備中地域	84	15	17.9	20	23.8
合計	710	85	12.0	105	14.8

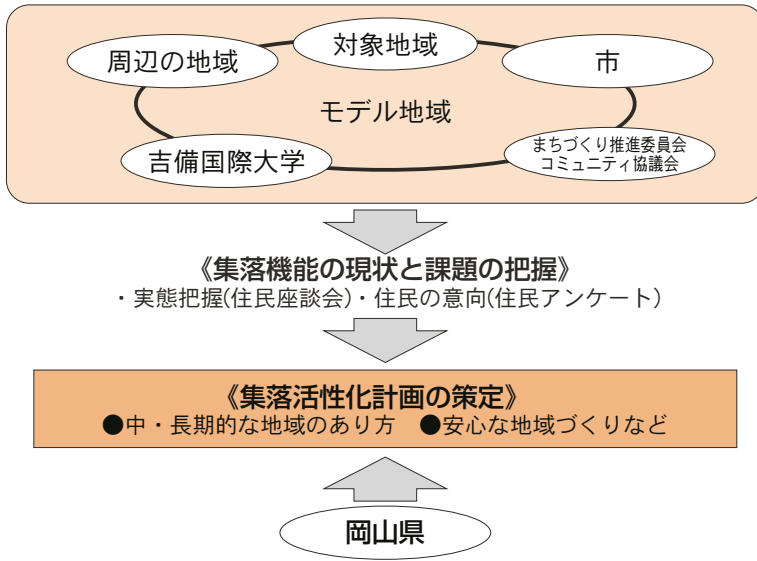
## 市の現状

県内の約7割を占める中山間地域では、過疎化や高齢化等による集落機能の低下、農林業をはじめとする産業の停滞など、さまざまな問題が生じてきています。こうした地域の集落機能強化や活性化に向けて、今年度、県では「中山間地域活性化推進本部」が設置され、本市においても取り組みを進めています。

市内では、世帯数が10世帯未満で高齢化率(65歳以上の人の割合)50%以上の町内会は、約2

年間20町内会増えています(表①)。少子高齢化が進展する中、このような町内会がさらに増加することも予想され、集落機能の低下が懸念されています。

＜集落機能の強化・活性化のための推進体制＞



モデル地区の選定

市は、こうした集落機能が危ぶまれる実態を把握するため、モデル地区を選定。

戸数が10戸未満で高齢化率が50%を超えている町内会を含み、まちづくりやコミュニティ活動等を実施している地域の中心

から、玉川町増原・下切地区、備中町平川地区の2地区を選びました。

現在、モデル地区の皆さんとともに、集落機能を維持・強化していくための活性化計画策定に向けた取り組みを進めています。

これまでの取り組みの状況

▼活性化計画策定の体制整備

モデル地区のある地域のまちづくり推進委員会やコミュニティ協議会等の組織、吉備国際大学、市等による計画策定等の実施体制を整備するとともに、市役所内にも関係課による連絡組織を設置しました。

▼地域の現状と課題の把握

モデル地区では、町内会単位を基本とする住民座談会を、7月から順次開催しています。この住民座談会では、各町内会で実施されている共同作業や行事等の活動内容や現状、課題を把握することとしています。

座談会は、吉備国際大学社会学部准教授・靄理恵子さんと社

会福祉学部講師・黒宮亜希子さんをファシリテーター<sup>(※)</sup>に迎え、参加者が小グループに分かれて話し合いを進めています。

暮らしている地域の「良いこと」「自慢できること」「心配なこと」

「問題と思っていること」など、テーマに沿った話し合いを通じて、参加者同士が互いの共通認識を高めるとともに、自分たちの地域にある課題の洗い出しを行っています。

このほか、モデル地区の18歳以上を対象とした住民アンケートを実施。地域の皆さんの意識や課題を把握し、計画策定に向けて整理しています。

今後の進め方

活性化計画の策定は、行政主

導で行うのではなく、地域住民の皆さんが主体となって進めることとしています。

モデル地区で把握できた地域の課題等に対して、地域が持続可能となるよう方策等を盛り込み、本年度中に取りまとめる予定です。

計画に盛り込まれた施策は、次年度から段階的に進めていき、集落機能の強化・活性化を図っていきます。

(※)ファシリテーター：ワークショップや座談会などにおいて、議論に中立的な立場を保ちながら話し合いに参加し、多様な意見を取りまとめ、合意形成に向けて調整する役割を担う人。

■問い合わせ 企画課定住促進係 (TEL) 02822

ファシリテーターから



靄 理恵子さん

住民自身が自分・家族・集落・地域の将来をどう考えるのか、それをきちんと反映した計画にする、という基本姿勢で進めています。